

名古屋市立東築地小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、8月25日(火)に名古屋市立東築地小学校、3年生2クラス(56名)を対象に出前講座を実施しました。

講座のねらいは、総合のテーマである「地域」に関連して、藤前干潟の見識を深め、藤前干潟に生息する生きものに関心を持ち、また、環境について学ぶことです。

今回はクイズをはさみながら、干潟の仕組みや成立ち、シジミの実験や干潟の鳥類・底生生物について学習をしました。そして、保全された藤前干潟に今も残る問題として、漂着ゴミが生きものに与える影響についても紹介をしました。

実際に干潟の泥を触ったり、顕微鏡を使用し、ゴカイを見てもらうなど、生きものを中心とした講座で、児童たちは、元気に手を挙げて答えてくれました。「干潟がなくなると、生きものはどうになってしまうの」という質問が出るなど、熱心に講座に聞き入っている様子がとても印象的でした。

後日、先生方より、児童たちの感想を受け取りました。「生きものも自分たちと同じ命だから、大切にしたい」「人間が捨てたゴミに生きものが苦しんでいる」など、一人一人が真剣に考えてくれたことがよく分かり、大変、嬉しく感じました。

SDGsの学習を始めているということで、今回の講座をその学習に活かし、みんなで、環境について考えていけるきっかけになればと思います。

2) 講座の内容

テーマ：「調べよう まちやもの」～藤前干潟～

1. 干潟ってどんなところ？
2. どんな生きものがあるの？
シジミの浄化実験、鳥類・底生生物の紹介
3. 藤前干潟はなくなるところだった?!
保全活動の経緯、漂着ゴミの問題
4. 質問タイム



*干潟の泥を触る様子



*元気にクイズに答える様子

3) 実施概要

実施日：令和2年8月25日(火)9:35～11:20

(2時限、3時限、各クラス1時限ずつ)

場所：名古屋市立東築地小学校(港区)

対象：小学校3年生(2クラス、56名)、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所

(TEL:052-389-2877)までお問い合わせください。

令和2年月8月26日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 山崎 陽子